

成長を最速化する「指導」の最前線

コーチを「評価する者」は止まり、
「使う者」は加速する。

THE ACCELERATOR'S BLUEPRINT



その指導、本当に正しいのだろうか？

上司やメンターのアドバイスに対して、心の中で情報を吟味し、評価していませんか？



その「知的に見える姿勢」こそが、あなたの成長を止める致命的なボトルネックです。

結論から言おう。

？
正しいかどうかは

！
「やった後」にしか分からない。

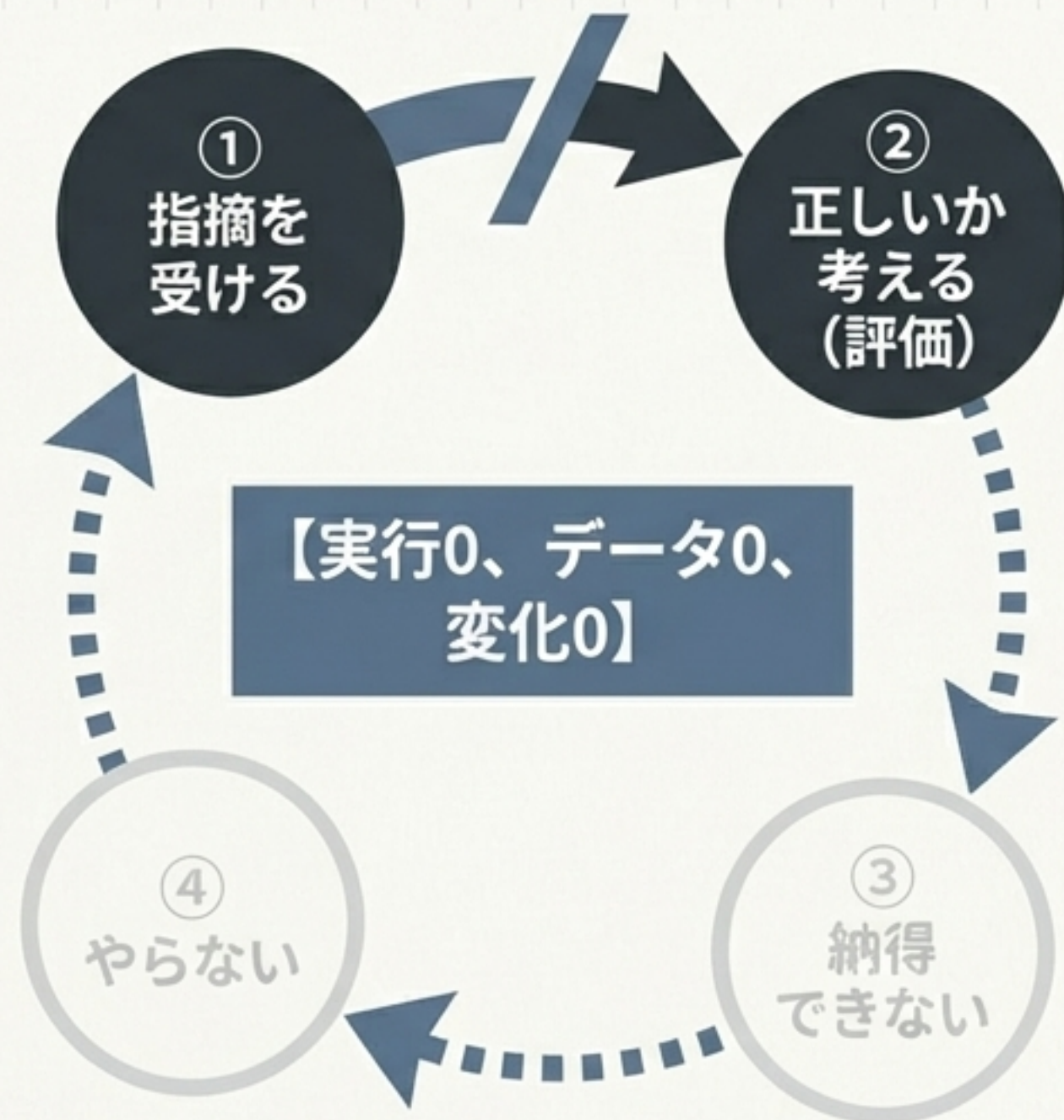
実行する前の「事前評価」は、すべて幻に過ぎない。

成長の構造 vs 伸びない構造

○ 成長する人のループ



× 伸び悩む人のループ



なぜ私たちは、行動する前に「評価」してしまうのか？

意識上の理由

「この練習に意味はあるのか？」
「非効率ではないか？」

強力な自己防衛本能

- ▶ 不格好な（できない）自分を見たくない
- ▶ 間違えて傷つきたくない
- ▶ 自分の行動の主導権を手放したくない

評価者の安全地帯に逃げ込むことは、「成長の当事者であることを放棄する」ことである。

マインドセットを破壊せよ。



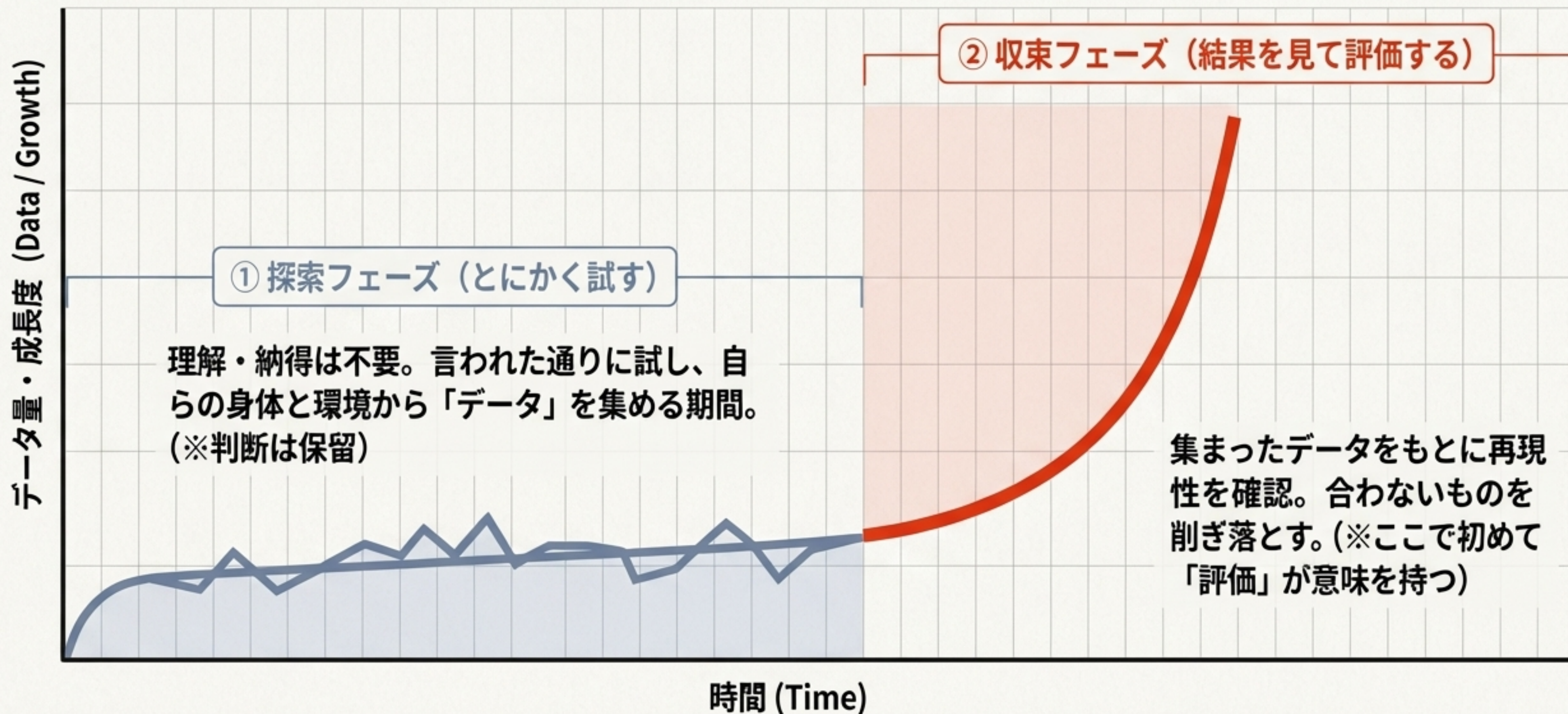
**【旧】指摘 = 自分への攻撃、
または批評対象**




**【新】指摘 =
「実験条件の提示」**

あなたは実験者だ。試す前に結論を出すのは、三流の科学者と同じである。

正しいスタンス：「成長のフェーズ」を明確に分ける



あなたはどちらか？ 「評価する者」 vs 「使う者」

項目	評価する者（止まる）	使う者（加速する）
指導者・環境	批評対象として見る	自分を引き上げる加速装置にする
納得感	やる前の「納得」を求める	やった後の「データ」を求める
失敗への態度	防衛し、回避する	実験 結果として歓迎する
アクション	0（思考で止まる）	圧倒的な試行回数 

指導者やAIを引き出す「魔法の言葉」

評価するのではなく、具体的なアクションを引き出せ。今日から使えるスクリプト。

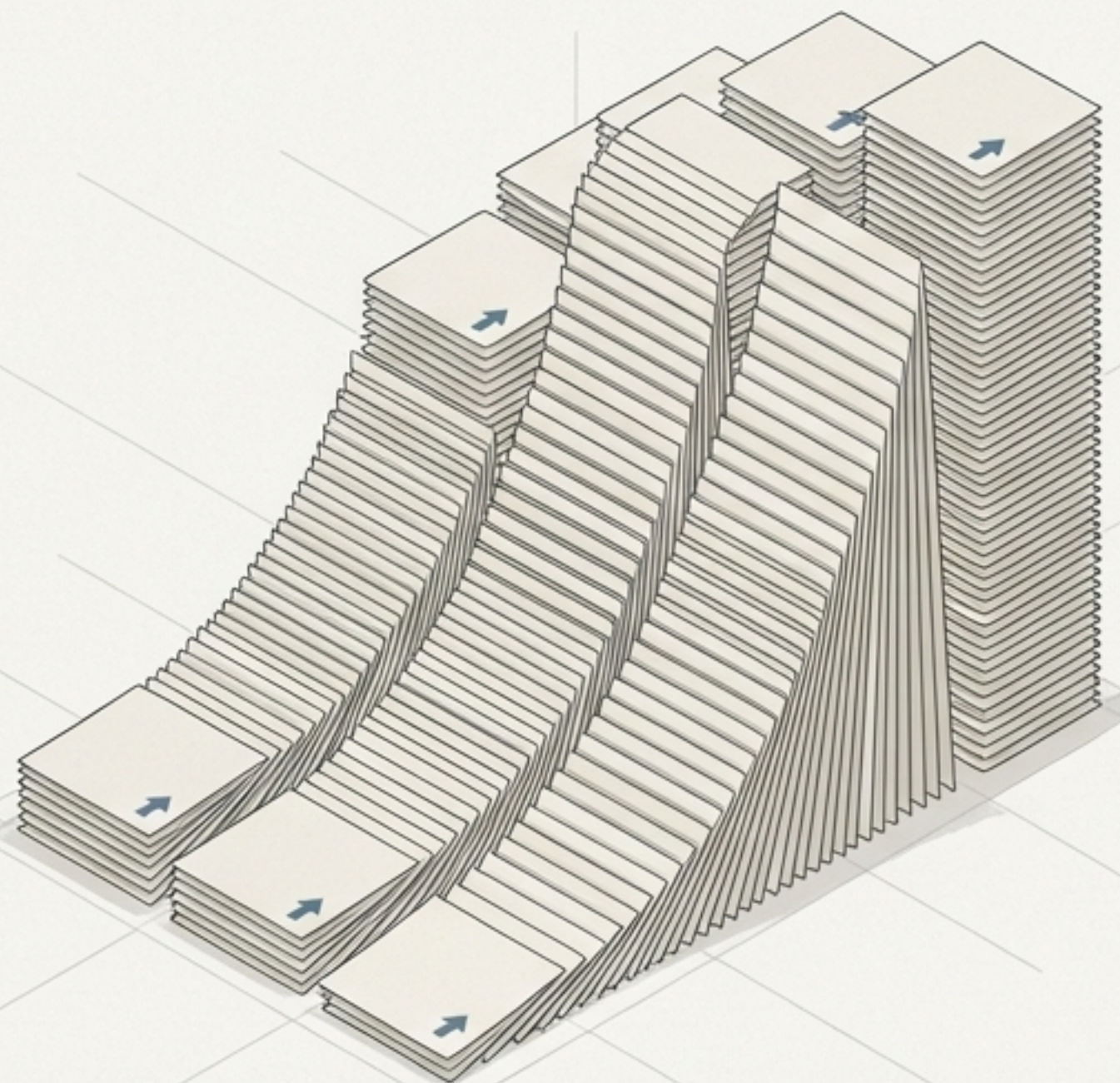
[SCRIPT 01]

「納得がいかない点もありますが、まずは3日試してみます。
その際、特に意識すべき指標は何ですか？」

[SCRIPT 02]

「このやり方のメリットを体感するために、
最適なドリル（具体的な行動）を教えてください。」

世界一の読解力を持つAIが、なぜ飛躍的に進化したのか？



AIはプロンプトに対し「この指示は正しいか？」と事前批評しません。

まずは「出力（アウトプット）」という行動を起こす。その結果から修正を繰り返す。

『圧倒的な試行回数』

これこそが進化の唯一の答え。

「間違えたくない」という防衛本能は、現代の成長における最大の足枷です。

究極の結論

評価を狭むな。
実験を始める。

圧倒的な成長を、あなたと共に。